

専修学校において教職員が指導上困難を感じる 学生の行動とその支援

岡田 信吾*, 鎌田雅史**, 下山真衣*, 石山貴章*

(*教育心理学科, **幼児教育学科)

Survey on supports for special education need students in specialized training colleges.

SOKADA, Shingo*, KAMADA, Masashi**.

SHIMOYAMA, Mae*, and ISHIYAMA, Takaaki*

(*Department of Educational Psychology,

**Department of preschool education)

抄 録

A県内の専修学校において、質問紙調査を実施し、教職員が指導上困難を感じる学生の行動とその支援について確認をした。探索的因子分析（最尤法、promax回転）の結果指導上困難を感じる学生の行動は、3因子が確認され、それぞれ「衝動性・集団参加困難」、「不注意・個人的な困難」、「不器用」と命名された。支援に関しては、「個人的支援の提供・授業改善」、「常識やルールの指導」、「他機関の紹介」の3因子、連携に関しては「学内外との連携」、「ピアサポートの依頼」の2因子がそれぞれ確認・命名された。これらの分析と回答者の概要とを比較した。その結果から、専修学校における教職員の認識の実態と支援の在り方について若干の考察を行った。

キーワード（専修学校、指導上困難を感じる行動、支援の実態）